

授業科目                      国際福祉論

【担当教員名】  伊東 正裕		対象学年	4	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【概要】 この授業では、代表的なくつかの国の社会福祉制度やその背景となる考え方について学び、日本の社会福祉の現状と課題について相対的に検討し、課題の解決に向けた理解を深めることを目的とする。					
【行動目標：SB0】 1. 代表的なくつかの国の社会福祉の制度や背景となる思想について説明できる。 2. 諸外国の社会福祉制度と日本の制度を比較・検討し、現状と課題について意見を述べるができる。 3. 諸外国の例を参考にしつつ、日本の社会福祉の課題解決に向けたまとめを作成し、発表できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1～3	講義
2	北欧の社会福祉（1）			1	講義
3	北欧の社会福祉（1）			2,3	グループ討議・まとめ
4	北欧の社会福祉（2）			1	講義
5	北欧の社会福祉（2）			2,3	グループ討議・まとめ
6	北欧の社会福祉（3）			1	講義
7	北欧の社会福祉（3）			2,3	グループ討議・まとめ
8	ヨーロッパの社会福祉			1	講義
9	ヨーロッパの社会福祉			2,3	グループ討議・まとめ
10	東南アジアの社会福祉			1	講義
11	東南アジアの社会福祉			2,3	グループ討議・まとめ
12	中東の社会福祉			1	講義
13	中東の社会福祉			2,3	グループ討議・まとめ
14	総括（1）			1～3	グループ討議
15	総括（2）			1～3	まとめ・発表
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		使用しない。			
参考書		適宜紹介する。			
その他の資料					
【評価方法】 授業の出席状況・討議の参加状況・提出物の提出状況を総合的に評価する。		【履修上の留意点】 この授業は各国の事情に詳しい専門家に講義を依頼するが、一方的な講義だけでなく、グループ討議やまとめの作成を重視する。受講者は、積極的な態度で参加すること。講師の都合等で授業計画に変更がある場合は事前に連絡するので、注意して欲しい。			